

「ちゅーりっぷ」の動向

セイコーエプソン労組様より資源物回収の看板を寄贈いただき設置しました。看板設置の効果は大変大きく、設置前と比べて資源物の回収量が大幅に増加しました。今までもセイコーエプソン労組様にはプリンタ、パソコン始め多くの品物を寄贈いただき、本当にありがとうございました。また地元の広丘商工会様からのご寄付をいただき、今後使い道を検討し、有効に活用していきたいと思えます。

県の実地指導が11月25日にありました。県、市から3名の指導員が来所され、各種帳票類等の確認、質疑等で法律に法に適正に運営されているかを3時間程、しっかり指導を受けました。「ちゅーりっぷ」としては初めての实地指導でしたが、指摘されたいくつかの事項は、今後「ちゅーりっぷ」のより良い運営に活かしていきたいと思えます。

逃げろ！



防災訓練

ふむふむ



訓練講評

職業指導員 小林明彦

「こんにちは“ちゅーりっぷ”です。アルミ缶を集めています。庭園の剪定・草取り、農業のお手伝いもします。」とコロナ禍の中で少しでも多くの仕事をいただきたい、そんな思いでチラシを配り始めて1年半余り、今では食堂、理容店、地区の皆さんともすっかり顔馴染みになり「アルミ缶また貯めておくね・・・」と優しく声を掛けていただけるまでになりました。

昨年春から薪の運搬、積み上げ作業をいただきました。アルプスが一望できる素晴らしい環境の中で、暑い日も、寒い日も、黙々と薪を運んでくれる利用者の姿に心を打たれながら、地域みなさんとのふれあいと共存を目指し、日々頑張っております。

所長 小池袈裟光



結構目立つね。



資源物看板

持ち込み OK！

12月には広丘消防署員立ち合いのもと、年末に備えて地震発生と地震による火災を想定した防災訓練を行いました。寒い中でしたが皆さん真剣に取り組みました。また、職員は消火訓練も併せて行いました。消防署の講評は、寒かったこともあり、また消防署の配慮で室内で行い、地震が起きたら避難出口のドアを開けること、火災発生時は部屋の仕切りドアは閉めること、初期消火は消火者の退路を確保してから行う事、等の有益なアドバイスがあり、いざという時の教訓にしていきたいと思えます。

年末にはそばの梱包、シール貼りの仕事が入り、一時的ではありましたが納期の厳しい仕事を皆で協力し合い頑張りました。また支援者の協力のもと「ひのきの香り」（塩尻産ヒノキから抽出したエッセンシャルオイル）を商品化し、「ひのきの香り」の入ったアロマキャンドルと共に塩尻市のふるさと納税の返礼品に加えていただきました。

また、木曽くらしの工芸館（塩尻・木曽地域地場産業振興センター）様で販売していただくことになり、「ひのきの香り」は今後、「ちゅーりっぷ」の独自商品として販路開拓をしていきます。

利用者の皆さんと、かけがえのない一日一日をていねいに、感謝の気持ちで「ちゅーりっぷ」での時間を過ごしていきたいと思っています。

いい香りだよ。



ひのきの香り